

東京慈恵会医科大学 医学部看護学科保護者会

第6回総会 議事次第

日時 2024年6月22日(土) 13時00分～13時30分

場所 看護学科校舎1階 大講堂

1. 開 会 挨拶、委任状況の報告
2. 松藤 千弥 学長 ご挨拶
3. 議案1:保護者会役員選任、監事選出、2025年度会長選任について (資料1)
4. 保護者会会長所信表明
5. 議案2: 2023年度保護者会活動報告と収支報告 (資料2-1, 2-2)
6. 議案3: 2024年度保護者会活動計画と予算 (資料3-1, 3-2)
7. その他
 - 1) 保護者会懇親会について
 - 2) ファブール祭特別企画について (資料4)
8. 北 素子 看護学科長 ご挨拶
9. 閉会

【配布資料】

- ・資料1——2024年度看護学科保護者会役員案
- ・資料2-1 2023年度活動報告書
- ・資料2-2 2023年度収支報告書
- ・資料3-1 2024年度活動計画書
- ・資料3-2 2024年度予算案
- ・資料4 ファブール祭特別企画について
- ・追加資料 看護学科30周年記念誌より「看護学科保護者会設立の思い」

2023 年度活動報告書

4 月	・ 入学式…新入生へ入学祝いとして体温計を贈呈した。 ・ 新入生保護者説明会で理事勧誘を行った
5 月	・ 第 1 回理事会
6 月	・ 第 5 回総会
7 月	・ 看護への思いを新たにする式…2 年生へ記念品（ナースウォッチ）を贈呈した。
8・9 月	・ ファブール祭バザー出品の呼びかけを行った。 ・ 第 2 回理事会 ・ 附属 4 病院新人看護師支援…ハンドケアセットを贈呈した。
10 月	・ 第 4 回懇親会…参加者 68 名 附属病院看護師と看護学科教員をお招きし、就職・進学支援をテーマとした講演と保護者同士の交流を行った。
1 月	・ 看護学科教授退任記念講義…会長が参加し、記念品を贈呈した。
2 月	・ 第 3 回理事会
3 月	・ 卒業式 卒業生へ記念品（ワコー牛革トレイ）を贈呈した。 成績優秀者 1 名へ保護者会賞（副賞：腕時計）を贈呈した。 ・ 3 年生国試対策…低学年模試受験料を補助した。



入学祝（体温計）



第 4 回懇親会



ナースウォッチ（2 年生へ贈呈）



懇親会 参加者への手土産



卒業記念品（牛革ケース）

2023年度 収支報告書

東京慈恵会医科大学医学部看護学科保護者会

自.2023年4月1日 至.2024年3月31日

【収入の部】		単位：円		
科目	適用	予算額	執行状況	比較増減
第32期生 会費		1,440,000	1,440,000	0
受取利息		0	18	18
前年度繰越金		1,139,451	1,139,451	0
収入合計		2,579,451	2,579,469	18

【支出の部】				
科目	適用	予算額	執行状況	比較増減
1. 1年生への支援	入学祝（電子体温計）60名分 * 2024年度分購入済	0	0	0
2. 2年生への支援	看護への思いを新たにする式記念（2Wayナースワッチ）	240,000	187,880	△ 52,120
3. 3年生への支援	看護師国家試験低学年模試 受験料	100,000	81,000	△ 19,000
4. 4年生への支援	卒業記念品（ワッ 牛革ケース 55人分）	400,000	353,925	△ 46,075
	保護者会賞（腕時計）1名	36,000	33,110	△ 2,890
5. 通信費	切手代（総会案内、懇親会案内など）	30,000	21,640	△ 8,360
6. 会議費	役員会議等にかかる交通費	100,000	40,840	△ 59,160
7. 懇親会費	茶菓代	120,000	83,770	△ 36,230
8. 文具費	アンケート用使い捨て鉛筆代	10,000	1,249	△ 8,751
9. 印刷費	保護者会専用封筒作製費（長形3号封筒）	15,000	0	△ 15,000
10. 雑費	振込手数料	2,000	2,310	310
11. 供花代	学祖墓参時の供花代	10,000	22,000	12,000
12. 予備費	新人看護師支援代、教授退任記念品代	150,000	111,503	△ 38,497
13. 次年度繰越金		1,366,451	1,640,242	273,791
支出合計		2,579,451	2,579,469	18

上記の通り、ご報告申し上げます。

2023年度会計 XXXXXXXXXX

監査の結果、適正に処理されていることをご報告申し上げます。

2023年度会計監査 XXXXXXXXXX

2024 年度 看護学科保護者会活動計画

1. 学生への支援に関する事項

- 1) 1 年生入学祝
- 2) 2 年生「看護への思いを新たにする式」記念品
- 3) 3 年生国家試験模擬試験料に対する支援
- 4) 4 年生卒業式保護者会賞、卒業式記念品

2. 保護者会・教職員との交流に関する事項

- 1) 理事会の開催
- 2) 保護者会総会の開催 6 月
- 3) 保護者会主催 教職員保護者懇親会 10 月予定
- 4) 保護者会連絡網の運用
(保護者会通信の発信、保護者からの意見集約、教員への陳情)
- 5) 大学ホームページ内での保護者会ページの更新
- 6) 慈大新聞への寄稿
- 7) 懇親会以外の保護者同士の交流機会の検討
- 8) 医学科保護者会との交流機会の検討

3. 保護者会運営に関する事項

- 1) 保護者会費徴収・管理
- 2) 必要な文具類の整備

2024年度 予算案

東京慈恵会医科大学医学部看護学科保護者会

自.2024年4月1日 至.2025年3月31日

【収入の部】		単位：円	
科目	適用	予算額	昨年度決算額
第33期生 会費	24,000円×60名	1,440,000	
前年度繰越金		1,640,242	
収入合計		3,080,242	

【支出の部】			
科目	適用	予算額	昨年度決算額
1. 1年生への支援	入学祝（電子体温計）60名分 *2年分	340,000	0
2. 2年生への支援	看護への思いを新たに作る式記念（2Wayナースウッチ）	190,000	187,880
3. 3年生への支援	看護師国家試験低学年模試 受験料	100,000	81,000
4. 4年生への支援	卒業記念品 約10,000円×60名分	600,000	353,925
	保護者会賞（腕時計）1名	50,000	33,110
5. 通信費	切手代（総会案内、懇親会案内など）	30,000	21,640
6. 会議費	役員会議等にかかる交通費	100,000	40,840
7. 懇親会費	茶菓代等	120,000	83,770
8. 文具費	熨斗紙、包装紙 等	10,000	1,249
9. 印刷費	保護者会専用封筒作製費（長形3号封筒）	15,000	0
10. 雑費	振込手数料	3,000	2,310
11. 供花代	学祖墓参時の供花代	22,000	22,000
12. 予備費	慶弔見舞金、災害見舞金等	50,000	111,503
13. 次年度繰越金		1,450,242	1,640,242
支出合計		3,080,242	

東京慈恵会医科大学医学部看護学科
保護者会ファブール祭特別企画

椅子 de YOGA

一緒にヨガを体験してみませんか？

国領キャンパス看護学科校舎

10月27日(日)



「椅子 de YOGA」は、椅子に座わりながらできる YOGA です。

運動が苦手な方、どんな年齢の方でも

椅子さえあれば気軽に始めていただけます。

「私は体が硬いから YOGA なんてとても無理」

「足腰が弱くなってきてバランスを取るのが難しい」

「膝が痛くて床に座れない」

といった方にもおすすめです。まずは「椅子 de YOGA」から

運動を習慣化し、健康年齢をのばしませんか！



みなさまどうぞお楽しみに !!

詳細は 9 月下旬頃お知らせいたします。

お問合せ先:看護学科学事課保護者会担当 佐藤さま

看護学科保護者会設立の思い

看護学科初代会長

東京慈恵会医科大学医学部看護学科が30周年を迎えられましたこと、お祝いを申し上げます。1885年(明治18年)4月に学祖高木兼寛先生によって我が国初の看護学校設立の偉業から始まる伝統の看護教育は、1992年(平成4年)設立の医学部看護学科へと引き継がれ、毎年高い国家試験合格実績を築きながら高度化する医療に対応した学生を育て輩出しておりますことを大変誇りに思っております。これまで看護教育にたずさわられました大学及び教職員の皆さまに深く感謝申し上げます、更なる伝統の積み上げとご発展を祈念申し上げます。

この度、同学科30周年記念誌発行に際し執筆の機会を得たため、当時看護学科保護者会設立活動に参画させて頂いた経緯と活動経過などを簡単に申し述べます。きっかけは2017年(平成29年)6月開催の『学生に関する情報交換会』に参加の折、看護学科保護者会設立の賛否を問う意見交換がなされ、「厳しいカリキュラムの中、入学時の高い志を卒業まで少しでもサポート出来たら」といった思いが自分の中で膨らみました。4年間でこなすカリキュラムに時間的余裕が少ないことから看護学科における大学生生活は一般的な大学生と比較し授業密度が高く、わずかな欠席で留年につながる授業や日程組替えが難しい病院実習も感染制御が必須で存在します。

学生の身体や精神を含む健康維持はカリキュラムをこなす基本であり、種々のストレスがかかる学生のコンディションを保つには保護者の協力があつた方が良く、その協力には大学側と保護者間の情報交換も更に必要との思いが強くなり、設立準備メンバーへの参加を決めました。

年明けの2018年(平成30年)1月13日には7名の保護者と大学教職員で構成された『看護学科保護者会設立の為のコアメンバー会議』が発足。同年3月3日からは同会議のリーダーを勤め、その間コアメンバー会議の皆様と共に2019年(令和元年)6月まで保護者会設立に向けて設立趣意書や会則の起案、活動内容と予算計画の企画や保護者懇談会運営等に從事し、同年7月6日の保護者会総会において承認を得、看護学科保護者会長に就任。2020年(令和2年)3月7日のコロナ禍で初の卒業式挙行に至る約8か月間保護者会長としての任を務めさせて頂きました。コアメンバー会議での活動時には限られた会議時間の中、保護者会活動の原資となる資金収集計画の学年別立案と実行方法決めなど課題が山積状態でした。しかし私の中でコアメンバーの職種や経歴の多様性から『異業種交流』と命名した同会議メンバーの多角的発想や教職員メンバーと大学からの絶大なるサポートを賜り看護学科同窓会の協力も得て、無事保護者会発足の目標を達成出来ました。ここで紙面をお借りし、当時看護学科保護者会設立に係わった全ての皆様のご尽力に感謝を申し上げます。最後に私からのお願いとして、現役保護者の皆様には、是非保護者会設立時の『親として学生を支援したい』との思いに共感を得て頂き、保護者会への積極的な参加によって継続的な学生支援の伝統も築いて頂くことを望みます。